

家畜の遺伝資源の保護・活用に向けた取組状況(工程表)

項目	平成18年度												平成19年度												平成20年度以降
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
〔家畜の遺伝資源の保護に関する検討会〕	家畜の遺伝資源の保護に関する検討会(1~5回)												第6回検討会の開催												取りまとめの実現に向けた取組
1. 貴重な遺伝資源である和牛を知的財産として保護	(動物遺伝研究所) 遺伝子解析、遺伝子特許取得に向けた取組												((独)家畜改良センター&山形県農業総合研究センター): 遺伝子特許1つ出願。												和牛の遺伝子特許等の戦略的取得 取得した遺伝子特許等の適切なマネジメント
戦略的な遺伝子特許の取得													第1回和牛知的財産取得・活用推進協議会設立準備												
遺伝資源保護に係る特許の活用	中間取りまとめの公表												第1回和牛知的財産取得・活用推進協議会 第2回協議会 第3回協議会 第1回パテントプール検討委員会 第2回パテントプール検討委員会												
関係機関における研究開発・推進													関係機関における研究開発・推進												
2. 精液の流通管理の徹底													和牛精液等流通管理体制構築推進事業の開始												モデルシステムの実証
精液の流通管理体制の強化(精液ストローへのバーコード印字等)													各モデル段階における推進会議の実施												家畜改良増殖法に基づくチェック体制の強化
精液証明書の「譲渡・経由の確認」欄の改正(家畜改良増殖法施行規則の改正)	改正内容検討												改正・施行												
精液流通管理体制の構築(自主的な連絡協議会の構築)													地域システムの開発												関係者間の理解醸成と自主的な取組
精液流通管理体制の構築(自主的な連絡協議会の構築)	連絡協議会構築に向けた検討												和牛遺伝資源保護・活用協議会(仮称)の立ち上げ												
3. 「和牛」表示の厳格化													ガイドラインの普及・啓発												「和牛」表示の厳格化
諸制度を活用した「和牛」表示の厳格化	食肉の表示に関する検討会(1~6回)												和牛等特色ある食肉の表示に関するガイドライン」取りまとめ												和牛に関する正しい知識等の普及・啓発 海外における日本産和牛の差別化
わかりやすい表示と消費者への情報発信													和牛統一マーク等の策定・普及 和牛に関する正しい知識の普及・啓発 等の実施												
4. 和牛の改良・生産体制の強化													家畜改良センターとの会議												遺伝子特許等を活用した和牛改良速度の向上 海外の追従を許さない優れた和牛の生産
遺伝子特許等の改良・生産への活用	改良関係中央会議												改良関係中央会議												
枝肉データ等を活用した改良体制強化	データの収集強化に向けた検討・意見交換												枝肉データベースに参加する同意書収集推進活動												
													枝肉情報分析利用委員会												
													全国和牛能力共進会の開催												
													改良関係中央会議												
													改良関係全国会議												
													改良関係中央会議												
													改良関係全国会議												